

新商品の取引先との契約整備とブランド化

会社概要

ソルシエール（山形村）

同社は、主として理美容室を経営するかたわら、家族が営む養蜂業で得られるハチミツやミツロウを用いた美容クリームを販売しています。



きっかけ

ミツロウ入りの美容クリームを化粧品として販売拡大していくことを企図して、同社が提供する基本レシピ（ノウハウ）に基づいて、化粧品製造許可を受けているメーカーに製造委託することを準備されていました。同社は、これまで他の事業者と契約を交わして商品化する経験が少なかったことから、金融機関の紹介を通じて、両者にとって適正な取引スキームの構築や契約締結に関するアドバイスをいただきたいと知財総合支援窓口にご相談がありました。

支援内容・ポイント

取引先（化粧品製造メーカー）との契約の締結及び自社ブランドの商標出願完了を当面の目標と捉え、支援にあたりました。

契約に関しては、同社の意向を酌んだ取引スキームの検討をした後、①基本レシピを含む秘密情報の守秘義務や目的外使用の禁止等を定めた秘密保持契約書、および②取引上の決め事、権利の帰属、禁止事項等を定めた製造委託基本契約書の作成支援を行いました。

商標出願については、商標制度や出願書類に関する説明をした上で、同社がハチミツ製品や新規美容クリームの共通ブランドとして考えた「HONEY SAGE」の商標出願の支援を行いました。

加えて、同社製品が長野県産の原材料を主成分としていることから、信州ブランド戦略キャッチフレーズ“しあわせ信州♥”のロゴマークを付けて「長野県産」を顧客にPRすることを提案。当該キャッチフレーズの使用申込みを県に申請し、後日、県から使用許可が下りました。

成果

同社が用意した契約書の内容で当事者間の合意形成がなされ、適正な条件で契約が締結されました。

また、同社ブランド「HONEY SAGE」の商標出願（商願 2021-145091）と店舗の新装オープンと共にリニューアルした店舗名「Sorciere」の商標出願（商願 2021-145092）が完了しました。

自家製のミツロウを用いた美容クリームの商品化の準備が着々と進み、間もなく販売がスタートする予定です。

